

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：小田島 聖

事業名 都市計画道路3・4・8号北8条通		事業区分 街路	事業主体 札幌市
起終点 自：札幌市北区北7条西4丁目 至：札幌市北区北8条西1丁目		延長 0.4 km	
事業概要 都市計画道路3・4・8号北8条通は、札幌市北区と東区を結ぶ延長3.2kmの幹線道路であり、またJR札幌駅と北区、東区の各地域を結ぶアクセス路線として重要な役割を担う路線である。本事業では、渋滞解消を目的とした道路拡幅事業を行うとともに、電線類地中化も併せて行うものである。			
H10年度事業化	S11年度都市計画決定 (S56年度変更)	H10年度用地着手	H11年度工事着手
全体事業費	約57億円	事業進捗率	87%
計画交通量	25,100台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 20.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 7.0 / 66億円 事業費：6.9 / 66億円 維持管理費：0.07 / 0.07億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 140 / 149億円 走行時間短縮便益：137 / 145億円 走行費用減少便益：3.2 / 3.5億円 交通事故減少便益：0.00 / 0.00億円
基準年 平成19年			
事業の効果等 ・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業） ・歩行者、自転車のための生活空間の形成（交通バリアフリー法による道路特定事業）他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 慢性的な交通混雑など北8条通沿道環境の悪化に伴い、北区鉄西地区連合町内会や地元町内会から早期整備に対する要望（平成18年1月12日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 JR札幌駅周辺や北8条通沿道において相次ぐ大型商業施設の開業に伴う集客により、慢性的な交通混雑が起きている状況である。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 当路線の西5丁目・樽川通から西2丁目線の区間(L=0.3km)は、平成17年度までに整備完了し、供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 西2丁目線から創成川通の区間は、引き続き用地買収を進め、平成21年度に全線供用を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 再生アスファルト合材の活用による資源循環の促進によりコストを縮減。 交通量の少ない夜間施工にすることで、路上工事による渋滞を軽減し、環境負荷を低減。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況から勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。